

特集

お茶大生の

キャリアと ライフコース



本学には女子大として、社会で活躍できるよう女子学生を育てていくミッションがあります。本学で学んだ学生たちは社会でどのようなライフコースをたどり、キャリアを実現しているのでしょうか？そこから見えてくる課題は何なのでしょう？「お茶大卒業生のライフコースと女性支援」ではお茶大生のライフコース調査から、本学の具体的課題を考えます。「学生への就職支援の取り組み」はキャリアの出発点ともいえる就職活動について、本学の取り組みを紹介し、本学の卒業生は、女子高等師範学校の時代から、女性が活躍する道を切り開いてきました。「道を切り開いた先達たち」をシリーズでご紹介します。

お茶大卒業生のライフコース

一般に、女性は多様なライフコースを歩むわけですが、そうしたライフコースに対応して、女性はどのような支援を望んでいるのでしょうか。お茶大卒業生調査（2001年実施）からみましよう。お茶大卒業生のライフコースの特徴は、大学院進学が多い、専門技術職、教育・研究職が多い、同じ勤務先で継続して働く割合は他大学に比してわずかに少ないものの、職種は継続していて再就職割合が多く、かつフルタイム就業者が多いことです。

図1は、お茶大卒業生の職業キャリアパターン（45歳までの段階）を示しています。フルタイム継続が4割と多いですが、パート化継続、中断パート等再就業、中断フルタイム再就業、フルタイム復帰継続、複雑型を合わせ4割以上あり、退職、中断中、就業経験無など無職者は2割にすぎません。就業と無職、フルタイムとパートの働き方を柔軟に組み合わせた多様なパターンに特徴があります。

この柔軟な組み合わせは、出産・子育てによるもので、家族キャリアと職業キャリアを組み合わせた家族・職業キャリアでは、既婚・子供有り・継続就業型が3分の1以上で最も多くなっています。再就職情報源として同窓関係がフルタイムで1割以上、パートは2割あったこともこうしたキャリアパターンを支えています。

卒業生は仕事、家庭の他、学習・趣味・地域活動・ボランティアなどの社会活動にもコミットしています。社会活動には、過去も含めると7割弱の人が参加しており、PTAなどを含む地域活動（5割）やボランティア（2割）の活動経験が高くなっています。特にボランティア活動には関心が高く、将来やりたい人は5割にものぼっています。調査結果から、お茶大卒業生のライフコース、ライフス

学生への就職支援の取り

「お茶の水女子大学の学生は優秀でまじめで社会人としての資質を備えている」と言われています。しかし、昨今の女子学生をとりまく就職事情を考えると、自分をアピールし、厳しい環境に立ち向かう術を身に付けなければなりません。お茶の水女子大学学生課では、学生への就職支援に全力をあげて取り組んでいます。今年度の予定は、

- a) 就職ガイダンス開催（全10回）
- b) 企業研究会（7月28日開催：15社の担当者から各ブースで直接話を聞きます）
- c) 企業説明会
- d) キャリアアドバイザーの設置（10月～3月まで）
- e) キャリアガイダンスの開催などです。

さらに、新しい試みとして、お茶の水女子大学学生課・お茶の水学術事業会との共催による講演会とセミナーが実施されます。

7月7日には、河野真理子氏による講演会「就職から考えるこれからのキャリアデザイン～21世紀の女性の生き方、働き方～」(第2回就職ガイダンスを含む)が開催されました。河野氏は男女共同参画会議、厚生労働省、文部科学省などの委員を数多く歴任し、女性のキャリアについて多くの発言をなさっています。明

スと女性支援

生活科学部教授 御船 美智子

タイトル選択に共通する特徴をキーワードで示せば、多様性、柔軟性、就業継続性、生活全体への積極性・バランスといえましょう。

こうしたライフコース、ライフスタイルを選択している卒業生がお茶大の将来像として重視していることは、図2に示すように、「女性の多様なライフコースに柔軟に対応する大学」「男女共同参画社会をリードする人材を養成する大学」です。ライフコースに柔軟に対応する大学とは何か、自由回答からの例では、子育て中の卒業生でも学位（博士）が可能な制度、通信制大学院、結婚・子育てを犠牲にせず働ける・勉強できる環境作り、ライフステージに合わせた再教育・再就職支援、結婚・出産しても社会と関わりをもっていられるようなサポートシステム、人材を生かすための大学と卒業生の

太いパイプづくり、卒業生のネットワークづくりの支援などです。

合計特殊出生率1.29に震撼している現代日本社会ですが、重要なことは、こうした女性の具体的なニーズに的確に対応した支援を地道に進めることでしょう。大学として魅力ある・有効な女性支援を、持続的に展開することが求められているのではないのでしょうか。（詳しいことについては、お茶の水女子大学『卒業生・修了生のライフコースと国立女子大学の将来像に関する調査結果報告書』平成13年11月を参照して下さい。）*

※この報告書は本学ホームページに掲載しています。

<http://www.ocha.ac.jp/syuppan/>

図1 職業キャリアパターン

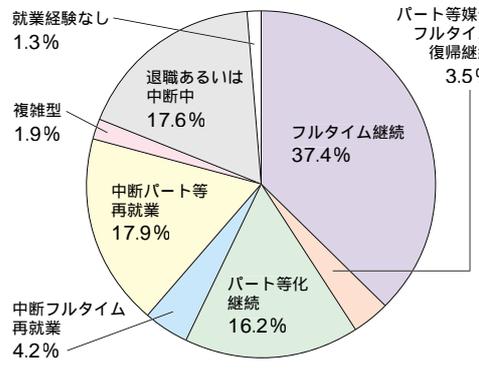
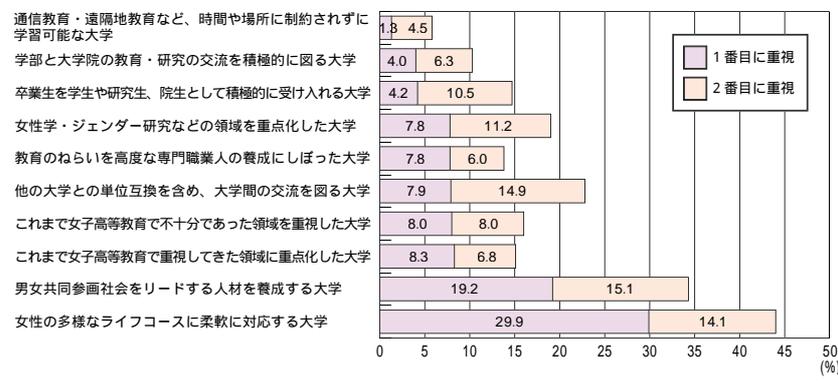


図2 お茶の水女子大学の将来像 最重要項目と第二重視項目



3
お茶大生のキャリアとライフコース

組み

お茶の水学術事業会 岩城 聡美

るく就職活動をのりきる秘訣とキャリアデザイン®についてお話を行いました。

続いて、7月31日（土）13時～17時にセミナーを行ないます。これは、河野氏の考案した「キャリアノート」に記入しながら、「今の自分」、「働く目的」、「就職」、「将来の自分」などについて、講師とともに考えながら、ディスカッションを交えて自分だけのキャリアパイブルを作成します。このノートは学生にとって、自

分を知り、自分のこれからを考え、自分流の生き方を見つける上で、一生の友となるに違いありません。受講料3,000円のうち、1,000円をお茶の水学術事業会が「学生への支援事業」として負担します。（要予約）

お茶の水学術事業会連絡先：本学理学部3号館204号室
E-mail: info@npo-ochanomizu.org
電話03-5976-1478



6月9日開催の、お茶の水女子大学学生課主催「第1回就職ガイダンス」。就職に関する意識は高く、240人が参加し大盛況でした。アンケート結果は、よりよい就職支援を目指し、次回へ反映させます。



昨年9月に行った、お茶の水学術事業会主催の「就職セミナー」。第1部は5人の内定者から、就職活動の実際を聞きました。様々な分野の話が聞けたと、好評でした。



続く第2部は、懇親会形式で7人の内定者をそれぞれ囲んで、話を聞きました。直接質問をすることができ、本音が聞けたと、こちらも好評でした。